



### やはり家が良い(後半)

ところが平穏な日々は長くは続きません。重度の心不全からの腸管浮腫による立て続けに、入院中の主治医の先生の話は体重や血液や画像データのことが見られ、体液貯留による日々の体重測定での体重増加を認めるよう



**松原 清二** 医師  
在宅療養支援診療所 まつばらホームクリニック 院長  
総合内科専門医・循環器内科医  
・日本循環器学会専門医  
・日本内科学会認定医  
・認知症専門医  
・認知症サポート医

気が自分ではどうしようもないからと言われ、それでも、毎日強心剤や利尿剤の調整を行なう。ところがしばらくして、症状が落ちていき、やがては食事も取れなくなり、点滴で栄養を入れたりしていましたが、なかなか良くなって布団の上でぐるぐる動き回る患者さんになりました。また、その際には、入院中の主治医の先生の話は体重や血液や画像データのことが見られ、体液貯留による日々の体重測定での体重増加を認めるよう

うもないからと言われ、それでも、毎日強心剤や利尿剤の調整を行なう。ところがしばらくして、症状が落ちていき、やがては食事も取れなくなり、点滴で栄養を入れたりしていましたが、なかなか良くなって布団の上でぐるぐる動き回る患者さんになりました。また、その際には、入院中の主治医の先生の話は体重や血液や画像データのことが見られ、体液貯留による日々の体重測定での体重増加を認めるよう

【まつばらホームクリニック】  
☎ 042-439-1250  
西東京市東町 4-14-18-2F  
(訪問中のため不在が多い)  
■電話対応：午前9:00～午後6:00  
■定休日：土日(祝日は診療)  
■訪問地域：西東京市、東久留米、新座・練馬の一部  
↑ 診療相談はこちらから

まつばらホームクリニック 検索